

基礎から学ぶ

内部監査

当日のアンケート
ご回答特典

●内部監査に関する重要なポイント	
監査能力	内部監査人(内部監査部長等)が、内部監査が適切に行われるに、必要十分な人財か。
継続的な内部監査の実施	全部署・全グループ会社の内部監査が実施されているか(重要開始前までに継続的な自己点検が完了、指摘事項が改善され、上場後も問題が起らない状況にあることが確認できるか)。
改善対応機能	監査指摘事項に対する改善事項が適切か、企業の実務化作業として実際に機能しているか。
監査役・会計監事との連携	効果的に問題を発見できるように、監査役・監査人と情報が共有される体制が構築されているか。
継続的・組織的運営	内部監査機能が固定され、関係者の運用がなされ、上場後も継続的に行われるか。

●内部監査チェック項目		
テーマ	重要な視点	具体的な内部監査事項
共通項目	① 業務プロセス	①-1 業務プロセスの適正性
	② 組織	①-2 業務プロセスの適切な運用(事後業務が多発する等、業務プロセスに問題があるか)内部監査体制の問題ありとみなされる可処分・力
		②-1 社内報告体制の整備であるか(財務・経理の分離、少子業務は1部門内1つの業務は可能、少子業務は解決が必要、1人部門の廃止など)
留意	① 関連部署からの報告	①-1 関連部署からの報告、適切に取扱いしているか
	② 経営者からの報告	①-2 継続的に検証するための体制の構築状況
	③ 中期経営計画等	①-3 関連部署実務による役員に対する監視体制の構築等

IPO上の
内部監査の
最新トピック

IPO塾
ウェビナー

11月16日(木)
13:30~15:00

講演資料
(サンプル)

ご参加された
お客様の声

をご紹介します！

V-1 内部監査室の役割

1. 内部監査

- 内部監査の役割（業務監査・経営監査）
 - ・ コンプライアンスの点検・評価（合法性）
 - ・ 効率性や業務管理の点検・評価（合理性）
- ⇒ 会社業務全般を対象とした定点監査

2. 内部統制

- 内部統制の役割
 - ・ 財務報告のための内部統制の整備・運用の有効性の評価（J-SOX）
 - ・ 「内部統制報告書」の作成と法定開示
- ⇒ 財務報告領域に限定。基本は、監査法人監査の対象

※ 内部通報
（内部監査室・
監査役又は外部
弁護士等）

- 内部通報（内部監査室・監査役又は外部弁護士等）
 - ・ 通常のレポートラインで漏れてしまう問題・課題の吸上げ及び通報
 - ・ コンプライアンス意識の醸成
- ⇒ 親会社および関連会社で内部通報制度展開

17

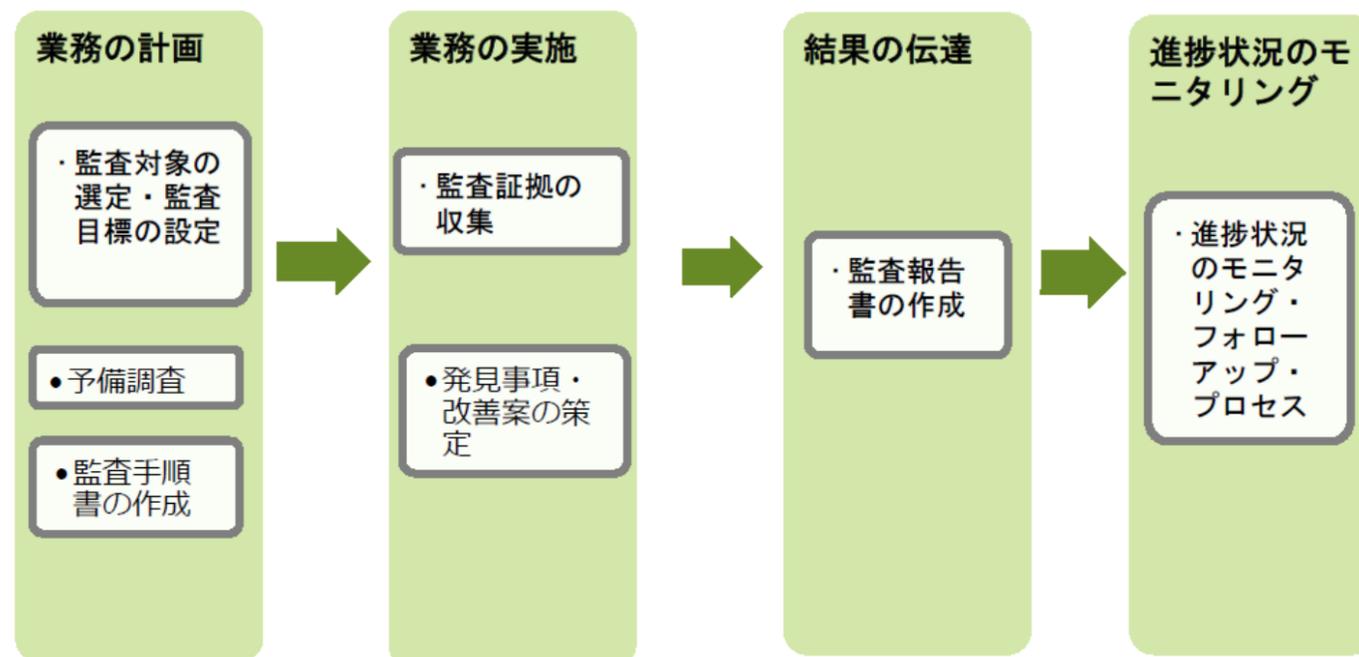


「内部監査とは？」から解説するため、
基礎から学びたい方にぴったりです。

※講演内容は予告なく変更になる可能性があります。

セミナーに申し込む

VI-1 内部監査業務の流れ



25



年間スケジュールや業務の具体的な流れなど、実務に活かせる情報も解説します。

※講演内容は予告なく変更になる可能性があります。

セミナーに申し込む

VII-1 これだけは、項目にいれよう 内部監査項目①

- (1) 業務フローの適正性
- (2) 現金・現物管理
- (3) [blurred]
- (4) [blurred]
- (5) [blurred]
- (6) [blurred]

41



内部監査で押さえておくべきポイントをご紹介します。
これから内部監査体制を整えていきたい方、必見です。

※講演内容は予告なく変更になる可能性があります。

[セミナーに申し込む](#)

ご参加されたお客様の声



具体的な監査資料や事例がありとても**実務的**と感じました。
実際の内部監査業務に**そのまま活かせる**点が多かったです。

(東京都 | IT・情報通信業 | 3年内IPO予定)



内部監査の**トレンド**についてのお話が非常に為になりました。

(神奈川県 | IT・情報通信業 | IPO検討中)



内部監査の全体感・手順期の内容が、
網羅的であり**簡潔**にまとまっていて良かったです。

(北海道 | 小売業 | IPO情報収集段階)



監査業務に就いて半年ですが、**基礎的な監査内容**、
やらなければならない事等、具体的に説明されていて判り易かったです。

(東京都 | 卸売業 | 3年内IPO予定)

※講演内容は予告なく変更になる可能性があります。

[セミナーに申し込む](#)

基礎から学ぶ

内部監査

当日のアンケート
ご回答特典

●内部監査に関する重要なポイント	
監査能力	内部監査人(内部監査部長等)が、内部監査が適切に行われるに、 必要十分な人財か。
組織的な 内部監査の 実施	全部署・全グループ会社の内部監査が実施されているか(重要開始 までに組織的な自己点検が完了、指摘事項が改善され、上場後も 問題が起らない状況にあることが確認できるか)
改善対応機能	監査指摘事項に対する改善事項が適切に、企業文化の自己浄化作用 として実際に機能しているか。
監査役・会計監 査人との連携	効果的に問題を発見できるように、監査役・監査法人と情報が共有 される体制が構築されているか。
取締役 報酬の適正	内部監査機能が規定され、取締役の選任がなされ、上場後も 継続的に行われるか。

●内部監査チェック項目		
テーマ	審査上の視点	具体的な内部監査事項
共通項目	① 業務プロセス	①-1 業務プロセスの適正性 ①-2 業務プロセスの適切な運用 (事後業務が多発する等、業務プロセスに 問題があるか)内部監査体制に問題ありと みなされる可処分: 2)
	② 組織	②-1 社内情報(顧客・経理)の 分離、アクセスは1部門1つの業務は 可能、2)業務は解決が必要、1)部門の 専任など)
留意	① 関連部署の取引	①-1 関連部署の取引: 適切に取引して、 継続的に検証するための体制の構築状況
	② 経営者関与の取引	②-1 経営者関与の取引: 適切に取引して、 継続的に検証するための体制の構築状況
	③ 中期経営計画等	③-1 中期経営計画等: 適切に取引して、 継続的に検証するための体制の構築状況

IPO上の
内部監査の
最新トピック

IPO塾
ウェビナー

11月16日(木)
13:30~15:00

皆様のご参加をお待ちしております。

セミナーに申し込む